

クラスサポーター研修資料

東京大学 大学総合教育研究センター
栗田 佳代子

Utelecon オンライン授業・Web会議ポータルサイト @ 東京大学

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp>

クラスサポーター制度について

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/supporters/class>

目次

クラスサポーターとは

制度の趣旨

クラスサポーターの基本要件

具体的手続きの流れ

手続きするには

できること

できないこと

オンライン授業をスムーズに行うコツ

2020年Sセメ~2021年Sセメ アンケート 一部抜粋

リソース

クラスサポーターとは

- オンライン授業、ハイブリッド授業を行う先生を支援する学生です。

「先生がオンライン授業に備える，その準備に付き合う，先生が授業中に気づきにくい（音が届いていないなどの）トラブルを学生側から介入する」等，**オンラインの操作が不慣れな先生への，初期動作等を学生がサポートするという仕事を想定しています。**



制度の趣旨

- オンライン、ハイブリッド授業時の機器操作が不慣れな先生への、初期動作等を学生がサポートするという仕事をさせることを想定して実施しています。
- 学科や専攻を超えたhelpのつながりもできることを目指しています。

※クラスサポーターになることが成績評価に影響することはありません。

クラスサポーターの基本要件

- 東京大学の所属であること（共通IDを有すること）
 - 学部生・大学院生
- 留学生の場合は資格外活動許可を取得済であること
 - 休学中は不可
- その授業の履修生かどうかは問わない
- 1授業科目あたり1名（1名が複数授業担当可能）
- 謝金1授業あたり13,000円
- 上限10時間
- ハイブリッド授業の場合、教室に登校しサポートする可能性が高くなるため、教員に確認すること
- 謝金支払いは教員の業務完了報告後

具体的手続きの流れ

サポーター になる

- 教員により 獲得フォームによる申請
- または、志願者と割当希望教員のマッチングにより成立
- ただちに活動を開始 & 研修の受講（クラスサポーターが初めての時のみ）

謝金手続き

- クラスサポーター謝金情報フォームへ基本情報 登録

サポーター 業務完了

- 教員が業務完了報告フォーム提出
- Sセメ：7月以降に振込
Aセメ：12月以降に振込

詳細は下記【クラスサポーター制度】のご案内をご参考下さい
<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/supporters/class>

手続きをするには

- 記入フォームにアクセスするには Microsoft 365 にログインしている必要があります。
- <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/dics/ja/mslicense.html> を参照いただき、大学のマイクロソフトライセンスを有効化してログインの上アクセスをお願いします。
- 下記にも手順動画があります。
<https://utelecon.github.io/oc/>
- 今後送付するフォームも基本的に Microsoft 365にログインしている必要があります

できる範囲で、Web会議システムに関する作業の協力

- 教員とWeb会議システムを用いた授業、ハイブリッド授業の事前練習や試行錯誤を一緒に行う
 - 音の聞こえ具合や、カメラの映り具合のチェック
 - 「フォームが共有されていません」
- 機材運搬、準備、片付け等
 - ※機材の使用方法是教員からレクチャーを受けて下さい
- できる範囲でのWeb会議システムへの習熟

できること（例） <授業中>

授業を受けながらでもできる程度の内容と量を想定

- 基本的なトラブルに積極的に反応して、教員に声をかける
 - 「先生、聴こえ（見え）ていませんよ」
 - 「先生、チャットが来ています」
- できる範囲でWeb会議システム関連のトラブル解決
 - 「その機能は「セキュリティ」の中にありますよ」

できないこと（例）

- 先生がWeb会議システムを全く知らなくても済むようにWeb会議の設定などを毎回整える, などは想定していません
- 黒板前で動き回る教員をカメラで追従して撮影する, などは想定していません
- 授業に入れない学生, 音が鳴らない学生などへの個別対応が, 授業を受けられなくなる数が発生した場合にすべて対応する(受講に支障があるレベル), などの仕事は想定していません(もちろん授業中の教員がやることも想定していません)

あくまで先生がオンライン授業に備える・実施する支援
(TA レベルの支援は想定していません)

「オンライン授業をスムーズに行うコツ」

2020年5月に行われたクラスサポータ制度説明会の中で 学生がグループになり

どういうサポートしたか、困った事、こんな事があった 等を情報共有してもらったものを

「オンライン授業をスムーズに行うコツ」としてまとめたものです。

※「こういう対応をして下さい、この対応は出来るようにしておいてください」というものではありません。参考情報です。

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/events/2020-05-20/web_form_raw.pdf

2020年Sセメ~2021年Sセメ アンケート 一部抜粋

※「こういう対応をして下さい」というものではありません。参考情報です。

行った支援はどういう仕事内容でしたか？（複数回答あり）

——選択肢——

音の聞こえ具合のチェック	64件
画面を共有できているかのチェック	58件
カメラの映り具合のチェック	50件
チャットをモニターする	27件
会議システムの機能を使ってみたときの見え方のチェック	20件
ハイブリッド授業の進行についての予行演習	8件
ブレイクアウトが上手くいっているかのチェック	4件

——自由記述——

事前に教員が使用を希望したサービスの調査と、使う練習

待機所にいる生徒の入室許可

トラブル発生時に対応する

対面教室の整備・事前の鍵開け

アカウント設定等の準備のお手伝いと、不具合が生じた際の質問対応など

zoomへの接続等に不具合があった個々の学生への対応

GECCSシステムを活用したグーグルフォームの使い方、授業録画がきちんと再生できるかどうか

システム面に関する、授業のゲストとの事前連絡

非常勤講師に対する、東大の授業支援システムの利用に関する助言

リソース

- クラスサポーター制度について
 - <https://utelecon.github.io/supporters/class>
- Zoomについて
 - <https://utelecon.github.io/zoom/>
- オンライン授業に関する教員向けページ
 - https://utelecon.github.io/faculty_members/
- ちょっとしたことの問題
 - チャットサポート (<https://utelecon.github.io/>) 各所
- 東京大学ハラスメント相談所
 - <http://har.u-tokyo.ac.jp/>